

## 「ぶらくり丁周辺まちおこしワークショップ」(仮称) スタートアップ会議 開催記録

和歌山市の中心市街地のにぎわいづくりに向けた方策を考える「ぶらくり丁周辺まちおこしワークショップ」(仮称)の第1回会議(スタートアップ会議)が、平成15年6月16日(月)の午後6時より、和歌山市役所の14階大会議室において開催されました。

このワークショップは、ぶらくり丁周辺のにぎわいを取り戻すためのアイデアを、市民、商業者、行政といった様々な立場の方の参加によって考えていこうとするものです。このワークショップの活動について今後、逐次報告していきたいと考えています。

### 【第1回ワークショップの内容】

#### 市長挨拶



第1回のスタートアップ会議では、冒頭、和歌山市の大橋建一市長から挨拶の言葉をいただきました。市長からは、「景気の低迷や高齢化などによってかつてのにぎわいが失われつつあるぶらくり丁周辺について、にぎわいの再生と活性化を実現するアイデアを、それぞれの立場の皆さんが持つ知恵を出しあうことで提案していただきたい」との大きな期待が寄せられました。

#### ワークショップの内容説明

続いて、ワークショップ事務局から、このワークショップの内容や進め方、ルールに関する説明があり、ワークショップを進めていくにあたって、参加メンバー間で共通認識しておくべきことを確認しました。例えば、ワークショップのルールについては、

毎回、必ず一人一度は自分の考えを発言すること！

「参加者はみな対等の立場」ということ忘れないこと！

ワークショップの場での批判はOKですが、批判はこの場限りとすること！

常に「前向き」に考えること！

必ず毎回、一定の成果をまとめること！

といったことが確認されました。また、今後の予定として、今年度中に合計10回程度のワークショップを開催していくこと、また、このワークショップの成果を広く市民の皆さんに知っていただくための「フォーラム」などのイベントを企画していくことなどが確認されました。



## グループ討議

この後、各テーブルに分かれて、グループでの意見交換がスタートしました。(ただし、今回のグループ分けはあくまで暫定であり、皆さんの意見や課題意識などを踏まえつつ、にぎわいづくりの課題と方策を詳細に検討していくためのグループ分けを改めて行う予定です。)

まず、顔合わせということで、参加メンバーの自己紹介を行いました。参加メンバーのぶらくり丁周辺に対する思いの大きさを、自己紹介の段階から感じることができました。

自己紹介の後、今日のテーマ「ぶらくり丁と言えば？」について、議論を行いました。老若男女様々な立場から、ぶらくり丁に関するいろいろなイメージや逸話が出されました。(詳細は各グループの検討成果を参照してください。)各グループに共通に見られた傾向として、やはり「今」と「過去」のイメージを対比させる発言が多かったように思えました。「今」のイメージの良いところを伸ばし、悪いところを改善していくこと、また、「過去」のイメージの良い面を再認識していくことが、ぶらくり丁周辺の再生には必要であるということは、参加メンバーに共通の思いであるようです。

各グループで議論した後、その検討成果を各グループの代表者が説明する「プレゼンテーション」を行いました。このプレゼンテーションは、グループ相互の刺激と情報交換のために重要なものであり、他のグループの発表を皆、真剣に聞いていました。



## ワークショップの正式名称選定



プログラムの最後に、第1回の試みとして、このワークショップの正式名称の候補案を参加メンバーから出していただいた上で投票し決定するというを行いました。

以下のように、いろいろな名称のアイデアが出ました。最終的にもっとも得票数の多かった案は、和歌山独特の言葉を使った「『つれもてやろら！まちづくり』ワークショップ」でした。次回のワークショップからは、この「『つれもてやろら！まちづくり』ワークショップ」を正式名称として使っていくこととします。

ワークショップの正式名称選定 (候補案と投票結果)

候補案	投票結果
河口の街 夢づくりプロジェクト ワークショップ	1票
「つれもてやろら！まちづくり」ワークショップ	13票
「とこわかのみちづくり」ワークショップ	4票
ヨシムネ TOK ワークショップ(TOK:特区、トーク)	1票
まちおこし・ワイワイ・ネット	4票
健客商売ワークショップ	0票
和歌山 JET・SET	2票
ぶらくり丁周辺まちおこしワークショップ	8票

本日の検討成果 [Aグループ](#) [Bグループ](#) [Cグループ](#) [Dグループ](#)

## 【今後の予定】

第2回のワークショップについては、7月初旬～中旬の開催の予定としていますが、詳細は追って事務局から連絡することとなりました。第2回ワークショップでは、本日の議論を踏まえつつ、「ぶらくり丁周辺の活性化に向けた問題点の抽出」、及び「ワークショップにおける検討テーマの設定」を議論していく予定です。

なお、第3回のワークショップ(7/22)では、地方都市での中心市街地における活性化方策やにぎわいづくりに関して造詣の深い、日本政策投資銀行 地域企画部参事役の藻谷 浩介氏にお話を聞きながら、まちおこしを考えていく予定となっています。

[Web ページへ戻る](#)